

中播磨県民センター地域戦略（【戦略1】人口対策）（案）

1 課題認識、基本的方向【総論】

課題認識	基本的方向
<p>中播磨地域は、郡部を中心に全域で人口が減少(2005→2040年:18.3%減)し、特に20歳代の流出が顕著となっている。進学、その後の就職を機に地域外に流出する傾向が続いているが、一方でものづくり産業を中心に優れた中小企業が多く、企業と就業希望者とのマッチングが進めば、若者の地元定着も増えることが見込まれる。</p> <p>また、中播磨地域の雇用を支える役割としてものづくり産業だけではなく、農業、観光、医療、サービス産業の雇用も相当数見込め、将来にわたり活力ある地域社会を構築していくためには、若者にとって魅力ある雇用の場の創出、地元への定着・移住など人口対策を進めることが急務となっている。</p> <p>さらに中播磨地域の資源である人の輪、地域の力(自治会組織率99.6%)を有機的につなぐことによって、子どもが元気に育ち、みんなが安心して暮らすなど、交流による元気な地域を目指す動きがあり、県民とともにこれを実現することによりさらに力を入れ、暮らしやすい地域づくり、住環境の向上を目指すことで定住を促進する。</p>	<p>【対応の方向性】</p> <p>① 進学を機に大都市圏等へ転出した若者が、そのまま就職してしまうため、地元のものづくり産業を中心にすぐれた技術力や将来性をアピールするなど企業と人材のマッチングを積極的に行い、若者の地元就職を促進する。また、農業における新規参入者の増加、就農定着のための農地確保や後継者育成、産品の販路開拓などの支援を行い就農等の拡大を図る。</p> <p>② 家庭や地域の力が弱まりつつある中で、中播磨地域の資源である「人の輪」、「地域の力」を有機的につなぐとともに、安全・安心な暮らしを実現する。</p> <p>これに全県単位で取り組む人口対策と連携して、若い世代が安定した就業と生活のもと結婚、出産、子育てをはじめ将来に希望が持てるふるさとづくりを目指す。</p> <p>【具体的施策】</p> <p>① 若者の地元就業の促進 ② 暮らしやすさNO.1のふるさとづくり</p>

2 具体的施策・事業【各論】

具体的施策		具体的事業例
内容	KPI(重要業績評価指標) ※ 地域における施策のアウトカム指標	事業の内容・目標 ※ KPI達成に必要な事業パッケージ、アウトカムアウトプット指標を記載 ※ ◎:県民局・県民センターの新規事業、●:本庁に対する提案事業、○:県民局・県民センター又は本庁の既存事業
<p>若者の地元就職の促進</p> <p>【対象者】 高校生、大学生など未就業者、新規就農者等地元での就業が安定していない者</p> <p>① 【施策の趣旨】 地元からの人口流出を食い止めるため、最も対策が求められる20歳代をターゲットとした地元就職促進策、就業支援策が重要であり、企業と人材のマッチングや中小企業の認知度の向上、Uターンしやすい環境づくり、農業等での若者の雇用の場の拡大等に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 中播磨の新卒高校生の管内就職割合 :60%(H25:48%) ◆ 中播磨の若者の転出入超過数 [15~19歳] :△60人(H26:△120人) [20~24歳] :△200人(H26:△402人) ◆ 中播磨地域における認定農業者数(農業の担い手) :95人(H26:88人) 	<p>(1)企業と人材のマッチング事業</p> <p>拡○ ものづくりを支える人材確保支援事業 高校生、大学生向けの中小企業を知る企業発表会の開催 :播磨全域から参加企業(7社)、参加高校生(300人)</p> <p>○ 各種就職相談会・面談会の実施 :実施(9回)、参加企業(約400社)、参加人数(約2,000人)</p> <p>● ふるさと人材確保支援事業(大阪をはじめ西日本各地の都市部での合同説明会、ふるさと企業就職活動助成金の対象地域に神崎郡を追加)</p> <p>● 姫路、神戸等都市部中小企業が首都圏在住者の就職活動を支援する場合の助成制度創設</p> <p>(2)若者の雇用の場の確保と能力向上</p> <p>拡○ 地域農業の担い手育成「野菜増産大作戦事業」:新規流通件数(13件)</p> <p>○ 新規就農コーディネート強化事業 他 :全県新規就農者(300人/年)</p> <p>拡○ 中播磨木造インターンシップによる技術継承支援 :実習参加者(延べ125人(H27~31)) (銀の馬車道、景観形成、空き家活用事業との連携)</p>

<p>暮らしやすさNO.1のふるさとづくり</p> <p>【対象者】 子育て世代をはじめ全県民</p> <p>② 【趣旨】 しごとと並び地域への定住を決定づける要因である暮らしやすさを高めるため、子どもや若者のふるさと意識や地域への愛着の醸成、安心の医療・福祉・健康ネットワークの構築、安全安心のまちづくりなど、暮らしやすいふるさとづくりに重点的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 住んでいる地域は子育てがしやすいと思う人の割合〔県民意識調査〕 : 60% (H26: 48.7%) ◆ 健康寿命〔県健康づくり推進実施計画 中播磨圏域計画〕 : 男性78.25歳、女性83.67歳 (H25: 男77.25歳、女82.67歳) ◆ 地域の災害に対する備えは以前より確かなものになっていると思う人の割合〔県民意識調査〕 : 45% (H26: 31.9%) ◆ しごとと自分の生活の両立ができていると思う人の割合〔県民意識調査〕 : 75% (H26: 69.4%) 	<p>(1) ふるさと意識、地域への愛着の醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 子どもの郷土玩具、甲冑等の制作体験を指導する講師を派遣 : 開催回数(10回)、参加人数(各20人) 対象: 幼稚園～中学生 ◎ 子どもの伝統文化伝承活動への助成 : 開催回数(5回)、参加数(各20人) 対象: 幼稚園～高校生 ◎ 地元プロスポーツチームの応援 ○ 地域づくり活動応援事業(一般枠・特別枠) : 応募数(40件) ○ 地域活動交流メッセの開催 : 参加者数(4,000人) ● 「出会いサポート」はばたん会員登録推進員の設置 (県内事業所に広く制度をPRし、事業所の福利厚生プランとして会員登録を促進) <p>(2) 安心の医療・福祉・健康ネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 循環器病センターと広畑病院の統合移転 ○ 病院合同就職説明会、看護系学校合同進学説明会 : 実施回数(1回/年)、参加機関数(約60機関/年) ○ 地域包括ケアシステム推進の支援 : 実施回数(約10回/年)、参加機関数(約70機関/年) ○ 中播磨”はばたけ授産品コンクール”の開催 : 実施回数(1回/年)、参加機関数(約20機関/年) ○ 地場産品もちむぎの機能性(豊富な食物繊維、血圧上昇抑制、血中コレステロール低下)を生かした食品の普及と産地育成 : フォーラム開催(1回/年) <p>(3) 安全・安心のまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 南海トラフ巨大地震対策 津波防災インフラ : 八家川水門、姫路港中島護岸補強等 橋梁耐震補強 : 生野橋等11橋梁完成 ○ 風水害対策 山地防災・土砂災害 : 福田川等砂防・急傾斜(22カ所完成)、土砂災害特別警戒区域指定促進 治水対策の推進 : 市川(阿成工区完成、砥掘暫定対策完了)、船場川(姫路競馬場調節池完成) ため池等整備事業 : 施工箇所数(17カ所) ○ 地域防災力向上対策 防災道路強靱化 : 西脇八千代市川線〔上瀬加〕等9カ所完成 インフラ・メンテナンス : 排水機場・水門(早期対策(A)3カ所完了)、橋梁(早期対策(特A)10橋梁完了) ため池安全・安心定期点検の実施 : 参加者数(400人) 地域住民の防災・減災意識の啓発(講演会等実施) : 実施回数(1回/年)、参加者数(200人/年) 地域防災活動の活性化(中播磨防災リーダーのスキルアップと実践活動の展開) : フォローアップ講座受講者数(防災リーダー150人)、地域防災活動参加者数(地域住民300人) ○ 便利で快適な公共交通の実現 駅周辺アクセス道路の整備促進 : JR福崎駅(甘地福崎線〔福崎駅前〕完成)※駅前広場完成(町施行) JR香呂駅(宍粟香寺線〔第二西川踏切安全対策〕完成) 地域公共交通(コミュニティバス等)への運行支援 : 普段はできるだけ公共の交通機関を利用する人の割合(44%) バス路線の利便性・安全性の向上 : 岩屋生野線〔岩屋〕、大柳仁豊野線〔東〕完成
---	--	--

中播磨県民センター地域戦略（【戦略2】地域の元気づくり）（案）

1 課題認識、基本的方向【総論】

課題認識 ※必要に応じて図表等を追加	基本的方向
<p>中播磨地域は、広大な播磨平野を擁し、北部は中国山地を形成、南部は瀬戸内海に面する多彩な自然に恵まれた地域である。東西には、中国自動車道、山陽自動車道、国道2号線バイパスを幹線として国道2号・375号線が、南北には、播但連絡道路を幹線として国道29号・312号線が整備され、多くの主要地方道で県内各地とつながっている。また、JR山陽新幹線・山陽本線、山陽電車本線が東西に走り、JR播但線・姫新線が都市部と山間部を結んでいる。国際拠点港湾である姫路港は国内外の貿易に利用され、家島諸島・小豆島への旅客船が就航するほか、大型客船が寄港できる旅客ターミナルを備えている。</p> <p>臨海部には鉄鋼・化学等の素材産業と電気機械・一般機械等の加工組立型の製造業が集積し工業地帯を形成、内陸部には高速道路沿いの工業団地を中心に電気機械・一般機械の企業が集積しており、工業出荷額は全県の約17%を占め、東播磨地域、神戸地域に次ぐ第3位となっている。また、商業面でも、商品販売額は全県の約12%を占め、神戸地域、阪神南地域に次ぐ第3位となっている。農業は都市近郊の立地をいかし新鮮で安全な農産物を地域に供給、水産業は漁船漁業と養殖業を組み合わせた安定的な経営が行われ、森林資源も豊富である。瀬戸内海国立公園、県立自然公園など、各地に体験型施設が整備されているほか、世界文化遺産姫路城、生野銀山と姫路港を結ぶ日本初の高速産業道路「銀の馬車道」、黒田官兵衛ゆかりの地など歴史・文化遺産が豊富な地域である。</p> <p>こうした姿は、まさに兵庫西部の拠点であり、平成27年4月には、姫路市を中心とする7市8町で「播磨圏域連携中枢都市圏」が形成されており、今後、播磨全域を視野に入れた取り組みが期待される。</p> <p>様々な地域資源がバランスよく整い、暮らしやすい環境が整っている反面、地域創生に向けて地域の元気づくりを推進するにあたっては、中播磨地域を象徴する一歩抜き出た要素が見えにくく、地場産業である「ものづくり」や「農林水産業」、「観光・ツーリズム」の推進を基軸に、地域の優れた資源を際立たせ、ブランド化を図っていくことが課題である。</p>	<p>【対応の方向性】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 地場産業である「ものづくり」企業の競争力を高め持続的な発展を促すとともに、企業活動を支える社会インフラの一層の充実を図り、地元企業の業務拡大、新たな企業の立地、大都市圏からの本社機能の移転等の原動力とする。 ② 都市部住民や地域の商工業と農林水産業との交流を拡大し、地域性・ブランド性の高い農林水産物・加工品の開発や6次産業化、農林漁業体験プログラムの開発等により、農林水産業の活性化を図る。 ③ 多様な視点で播磨各地の特徴ある観光資源を確立するとともに、テーマ性・ストーリー性を持った「広域観光周遊ルート」を形成し、観光拠点としての播磨のブランド力を高め、通過型から滞在型へ、観光・ツーリズムの新たな展開を図る。 <p>【具体的施策】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 播磨を支える産業競争力の強化及び産業インフラの構築 ② 都市と農山漁村との交流拡大 ③ 播磨ツーリズムエリアの形成

2 具体的施策・事業【各論】

具体的施策		具体的事業例
内容	KPI(重要業績評価指標) ※ 地域における施策のアウトカム指標	事業の内容・目標 ※ KPI達成に必要な事業パッケージ、アウトカム又アウトプット指標を記載 ※ ◎:県民局・県民センターの新規事業、●:本庁に対する提案事業、○:県民局・県民センター又は本庁の既存事業
<p>播磨を支える産業競争力の強化及び産業インフラの構築</p> <p>【対象者】 中小企業、学術研究機関等</p> <p>【施策の趣旨】 ものづくり中小企業が、大企業からの多様で高度なニーズに迅速・的確に対応しうる技術力を備え競争力を高めていくため、県立大学やSP-8など、地元の学術・試験研究機関等との連携強化を図る。 あわせて、道路、港湾施設等の物流環境やエネルギー環境の整備促進により、魅力ある産業立地用地を提供し、地元企業の活性化や新たな企業の進出を支援する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 県立大学の管内企業との共同研究件数 :20件(H26:10件) ◆ 中播磨における新規・増設企業立地件数 :10件(H26:9件) 	<p>(1)産学官連携の推進による企業の経営革新</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 産学官連携による「産業力」強化事業 :総参加人員(600人)、参加企業(38社)、参加学生(261人) (「企業・大学・学生マッチング」「研究室ツアー」の実施) ◎ 播磨全域の産業活性化、産学連携推進のためのサロンの形成 〔 様々な業種の企業や大学研究者等の産学・産産連携を支援、 課題設定し産と学が共同研究を実施、交流サロンの設置 〕 <p>(2)多様な産業活動を支える社会基盤の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 本社機能立地支援地域再生計画の策定 ○ 播磨臨海地域道路の早期実現 ○ 地域間交流を促す道路の整備促進 :岩屋生野線〔岩屋〕、久畑香呂線〔恒屋〕、大柳仁豊野線〔東〕完成 ○ 姫路港における港湾機能の充実(岸壁・埠頭用地の整備) :整備面積等 (岸壁(-14m):280m) (埠頭用地:4ha) ● 姫路港周辺エネルギー自給構想の検討 ● 循環器病センターと広畑病院の統合移転

<p>都市と農山漁村との交流拡大</p> <p>② 【対象者】 都市部住民、生産者、加工・流通業者、飲食店等</p> <p>【施策の趣旨】 都市近郊の利点をいかして、都市部住民との交流拠点を整備するとともに、地域の商工業との連携等によりブランド力のある地域産品や農林漁業体験プログラムを確立し、消費者をはじめ、加工・流通業者、販売業者、サービス業者と農林水産業の交流拡大を図る。</p>	<p>◆ 中播磨地域における都市農村交流施設利用者数 :700千人(H25:575千人)</p> <p>◆ 中播磨地域における農産物ブランド戦略策定品目数 :12品目(H25:8品目)</p>	<p>(1)生産者と消費者の交流の場づくり</p> <p>拡○ 食と農で結ぶ夢街道づくり事業(県道姫路神河線沿線) :観光客数(53万人) 〔 夢前スマートインター(27年9月供用開始)付近にアンテナショップ設置(観光案内・特産品販売)、田宴アート実施、プレミアム商品券発行等 〕</p> <p>拡○ ハーブを活用した姫路市山之内地区博物館(仮)づくりプロジェクト事業 :交流会参加者数(1,500人) 〔 「食と健康と文化の山之内」をコンセプトに、地元産ハーブ等を用いた薬膳料理レストラン、「食の学校(健康料理等)・農の学校(収穫体験等)」、機能性食品開発等を展開 〕</p> <p>(2)中播磨の魅力ある農林水産ブランドの確立</p> <p>◎ 6次産業化事業者販路拡大支援事業 :商品開発数(10件) コーディネータによるマッチング支援(商工会議所等商談会への参加、マーケティング指導) モニターによる商品開発支援(消費者によるモニタリング、専門家によるアドバイス) 商品改良等への支援(経費補助)</p> <p>拡○ “播磨灘産カキ”PR大作戦事業 :商談件数(50件) (良質で加熱しても縮みにくい大粒生カキ、大粒冷凍カキを首都圏・京阪神でPR)</p> <p>拡○ 秘めたひめじの前どれ再発見(ハモ、サワラ、カラスミ、サーモン、アユなど) :商品開発数(5件)</p> <p>拡○ 家島諸島～四十四島と漁業の魅力～の体感・体験プログラム開発事業 :開催回数(15回)、参加者数(600人)</p> <p>(3)農山漁村の魅力の再認識</p> <p>○ 地域再生大作戦の推進(アドバイザー派遣、地域活動支援等によりがんばる地域を応援) :実施地区(10地区)</p>
<p>播磨ツーリズムエリアの形成</p> <p>③ 【対象者】 国内旅行者、外国人旅行者、旅行会社、バス会社、地元市町、住民、観光協会、宿泊施設、商店街、飲食店等 クルーズ客船運行会社</p> <p>【施策の趣旨】 郷土の歴史・文化、産業遺産、映画・小説の舞台、ご当地グルメなど、播磨地域ならではのテーマ性、ストーリー性をもって、特徴ある観光資源を結ぶ観光ルートを形成し、地域住民等地元関係者を巻き込んで地域資源の磨き上げや地域間の連携をすすめることにより、播磨のブランド力を高める。 さらには、播磨の玄関口である姫路駅を発着点とする多様な観光ツアーの展開や、海の玄関口である姫路港への大型クルーズ客船誘致などにより国内外から一層の誘客を促進し、地域を支える観光業の活性化を図る。</p>	<p>◆ 中播磨地域における観光入込者数 :10,000千人(H26:9,801千人)</p> <p>◆ 中播磨地域における観光宿泊者数 :3,000千人(H25:2,615千人)</p>	<p>(1)テーマ、ストーリーのある観光拠点の創出</p> <p>◎ マスコミ、インフルエンサー(世間に大きな影響力をもつ人や事物)、旅行会社を活用したプロモーション展開:招聘ツアー実施回数(2回) 〔 播磨の温泉、城、産業名所、ブランド食、地元メシ、地酒体験のプログラム化 〕 〔 姫路発着の観光ツアーを展開(滞在型、一日・半日、A級・B級) 〕</p> <p>◎ 観光拠点の創出 :特別宿泊プラン利用者数(3,000人) ・「銀の馬車道・鉱石の道」日本遺産化支援事業 〔 生野銀山を中心に竹田城、姫路城、銀の馬車道、飾磨港などを中世から近代のストーリーで繋ぎ日本遺産の登録を目指す関係市町の取り組みを支援し、観光資源をブラッシュアップ 〕</p> <p>・歴史と伝統のある地域のシンボル・景観の形成(「銀の馬車道」発着点:浅田化学レンガ塀) ・大河内高原等魅力発信事業(村上春樹ゆかりのノルウェイの森ロケ地と阪神間の小説のモデル地の連携、雪景色等の冬の魅力) ・家島、沼島、淡路-神話ルート形成事業(神様が最初に造ったオノコロ島の神話) ・播磨ナンバーワン・オンリーワン産業ツーリズム発信事業 (市川町アイアンヘッド等工場見学、SP-8、沿岸部工場夜景、姫路城瓦工場など)</p> <p>(2)姫路港、妻鹿漁港、家島港の観光利用</p> <p>○ 姫路港観光プロモーション(国内・海外クルーズ客船誘致、多言語パンフレットの活用、Wi-Fiの整備) :プロモーション実施回数(10回)、クルーズ客船寄港回数(2回)</p> <p>○ 姫路港ふれあいフェスティバルの開催(夏版・秋版) :参加者数(9,000人)</p> <p>◎ 妻鹿漁港魅力アップ事業(直売所PR、シャトルバス運行、トイレ看板整備支援等) :直売所利用者数(300人/日)</p> <p>◎ 家島港周辺に観光客を対象とする地元水産物提供・販売拠点の設置を検討</p> <p>(3)海外観光客等の快適性・利便性の向上</p> <p>○ 安全で快適な通行空間確保、優れた景観の保全・形成(無電柱化実施プログラムの推進) :和久今宿線、姫路停車場線完成</p> <p>○ 道路案内標識の英語表記への改善 :姫路神河線など約350枚完了</p>